



# 園だより 5月

令和7年4月30日

千代田区立麴町幼稚園

園長 木村 恭子

わくわく遊ぶ！いきいき動く！

園長 木村 恭子

入園・進級から、そろそろひと月。新しい環境に嬉しさと緊張が入り混じっていた子どもたちも、少しずつ本来の姿を見せるようになってきました。初めはどこか“よそ行き”だった表情も、今では安心した笑顔に変わり、思い思いに園生活を楽しむ姿が見られます。

保護者会でもお伝えした通り、今年度の本園のテーマは、“わくわく遊ぶ！いきいき動く！”心も体も頭も動かして、自らの遊びを探究する子どもを育てていきます。4月も後半に入ると、さっそく子どもたちは本領発揮！です。



～“みんなのへや”に活躍の場を広げる 5歳児そら組～

とにかく投げて、避けて、当てて楽しい円形ドッジボール。細かいルールは二の次で、勢い余って内外野の境界線もあってないような動きもありますが、そこはこれから。必要を感じながら、自分たちで納得できるルールを整えていく過程の中で、学級としてのつながりも深まっていくことでしょう。

～園庭デビューの 3歳児はな組～

「池の中には何がいるのかな？」と興味津々にのぞき込んだり、太鼓橋を全身の力で登ったり。時には「まだ使えません」の怪獣マークが付いたジャングルジムに迷い込み、「ここはお休みでーす」と先生に降ろされたり。行くたびに、「なんだろう？」「面白い！」の発見を重ねていく日々が始まっています。



～得意の制作&ごっこ遊びに夢中な 4歳児やま組～

早くも、カラービニル袋で作った手作りドレスを着たお姫様が登場！好きな曲を流して歌ったり踊ったり、ごっこ遊びの世界が広がっています。やま組になって新しく登場した木製中型積み木も大人気。毎日形を変えるおうちや乗り物に「面白そう、入ってみたい」と子どもたちが集まって、一緒に遊ぶ楽しさを味わっています。

〈弁当給食が始まりました〉

皆が同じ容器、同じ内容のお弁当がテーブルに並ぶようになった今年度。見慣れないおかずや食べ慣れない味に、子どもたちはどんな気持ちで向き合うのか。ドキドキしながら迎えたスタートでした。

ちなみに、私自身は学校給食が苦手な子どもでした。思い浮かぶのは、食べるのが遅く、食も細く、牛乳！本が多すぎて…。よく最後まで残って食べていた記憶ばかりです。

さて、実際の子どもたちの様子は、先日の朝の動画でもご覧いただいた通りです。午前中にいっぱい遊んで、お腹はペコペコ。最初は慎重だった子も、日に日に食べるテンポが上がってきました。気に入ったおかずを求めて並ぶおかわりの列も、そら組ではすっかり日常の風景です。美味しそうに食べる友達を見て、家では口にしないものに挑戦し、「〇〇食べたよ！」と嬉しそうに報告に来る子もいます。“食の幅”とともに、会話も、自信も、クラスのつながりも広がる弁当給食になりそうです。

でも何より大切にしたいのは、“同じお弁当の前には、全く違う心が並んでいる”ということ。それぞれの気持ちに寄り添いながら、子どもたちの中に「温かい記憶」として残る時間を、積み重ねていきたいと思います。